

fiaf

国際フィルム・アーカイブ連盟=FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

5

No.116

シネ・ラ

大映映画 特別企画

日本を代表する映画会社の歴史を辿るシリーズ第3弾

戦後「羅生門」等の作品で国際的に日本映
画を知らしめた大映映画を特集

雨月物語

新選組始末記

収蔵作品特集

60年代韓国映画特集

ユ・ヒョンモク監督やシン・サンオク監督な
どの活躍で黄金時代を築いた60年代韓国
映画の特集



荷馬車



金葉局の娘たち

古事記
Ciné-là
みるんく

大映 映画史

戦中に発足し、50年代に「羅生門」「雨月物語」等の作品で国際的に日本映画を知らしめ、60年代に「眠狂四郎」、「座頭市」等で人気を博した大映映画を特集。



4月26日(水)～
5月 14日(日)

*休館日・休映日除く

観覧料: 600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

*定員制・各回入替制

*チケットは「藤村志保シネマトーク」以外はすべて当日券、前売り券はありません。

障がいの方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳の呈示が必要です)

羅生門

•5月 4日(木・祝) 11:00
•5月13日(土) 14:00

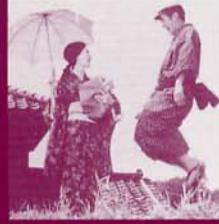


1950年/35ミリ
モノクロ/88分
大映
監督: 黒澤明
出演: 三船敏郎
京マチ子

芥川龍之介の「藪の中」をもとに描いた黒澤明の代表作の一つ。ベネチア映画祭でグランプリを受賞して黒澤の名を世界に知らしめただけでなく、日本映画が世界的に注目、評価されていく契機となつた歴史的な名作。脚本家、橋本忍のデビュー作でもある。

おとうと

•5月 3日(水・祝) 14:00
•5月13日(土) 11:00



1960年/35ミリ
カラー/97分
大映
監督: 市川崑
出演: 岸恵子
川口浩

親の愛情に飢え、非行に走る弟が唯一心を開くのが、いつも明るく振る舞い、家族のために献身的に尽くす姉だった…。文豪、幸田露伴の娘、幸田文の自伝的小説の映画化。カラーワイドスクリーンの画面を効果的に使った演出、宮川一夫のカメラワークも秀逸な名作。

雁の寺

•4月27日(木) 19:00
•5月 6日(土) 16:30



1962年/35ミリ
パートカラー
98分/大映
監督: 川島雄三
出演: 若尾文子
三島雅夫

原作は直木賞を受賞した水上勉の同名小説。洛北にある由緒ある禅寺の中で繰り広げられる住職とその愛人の愛欲。そしてその行為をのぞき見る、禅寺に預けられた不幸な生い立ちの若い僧侶。エロチックでサスペンスに満ちた犯罪ドラマで、素晴らしい映像美と若尾文子の妖艶な魅力に溢れている。

雨月物語

•5月 4日(木・祝) 14:00
•5月13日(土) 16:30

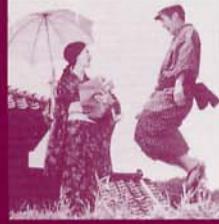


1953年/35ミリ
モノクロ/97分
大映
監督: 溝口健二
出演: 田中耕太
森雅之

上田秋成の「雨月物語」を翻案した川口松太郎の小説を原作に、巨匠、溝口健二が手掛けた戦後の代表作の一つ。戦国時代、陶器職人とその妻と貧農の夫婦といふ四人の男女がそれぞれ辿る奇数な運命を、幻想的な映像美で描き出し、ベネチア映画祭で準グランプリにあたる銀獅子賞を受賞している。

妻は告白する

•4月30日(日) 11:00
•5月10日(水) 14:00



1961年/35ミリ
モノクロ/91分
大映
監督: 増村保造
出演: 若尾文子
川口浩

原作は弁護士、円山雅也の「遭難・ある夫婦の場合」。大学助教授の夫妻と若い会社員の山岳パーティが遭難し、三人つながった状態で宙づりになる。妻は助かるために夫のザイルを切り離してしまひ…。増村保造と若尾文子のコンビによる代表的作品。

座頭市物語

•4月30日(日) 14:00
•5月11日(木) 19:00



1962年/35ミリ
モノクロ/96分
大映
監督: 三隅研次
出演: 勝新太郎
天知茂

62年～89年まで全26本が製作され、勝新太郎の人気を決定づけたロングランシリーズの第一作。子母沢寛の書いた短いエピソードから生まれた座頭市は大ヒットとなり、アジア各国でも上映された。三隅研次のメリハリのきいた演出、敵対する剣客を演じる天知茂のクールさ等、プログラムビックチャーチーを越えた完成度の作品となっている。

忍びの者

•4月 28日(金) 14:00
•5月 6日(土) 14:00



1962年/35ミリ
モノクロ/104分
大映
監督: 山本嘉次
出演: 市川雷蔵
藤村志保

戦国時代。織田信長は天下統一を目前にしていた。信長暗殺を目論む百地三太夫率いる百地砦の忍者達の中に、一目置かれる忍者石川五右衛門がいた。しかし彼にはなぜか信長暗殺の指令はおりなかつた。市川雷蔵主演の最初のシリーズ映画で、リアリズム溢れる演出により忍者ブームを巻き起こした大ヒット作。

歌ふ狸御殿

•5月 4日(木・祝) 16:30
•5月14日(日) 11:00



1942年/35ミリ
モノクロ/84分
大映
監督: 木村恵吾
出演: 高山廣子
宮城千賀子

「歌ふ狸御殿」は臨戦態勢下の日本で作られたとは思えないほど、娯楽一辺倒の和製ミュージカルとして大ヒットを記録した作品。シンデレラを下敷きにし、時代劇スターの高山廣子を主役に、相手役を宝塚出身の宮城千賀子、その他、宝塚出身の草笛美子、浅草オペラの益田喜蔵、歌手の楠木繁夫など芸達者を揃えている。

地獄門

•5月 3日(水・祝) 11:00
•5月12日(金) 19:00



1953年/35ミリ
カラー/88分
大映
監督: 衣笠貞之助
出演: 長谷川一夫
京マチ子

原作は菊池寛の「裂姿の良人」。日本映画で初めてイーストマン・カラーを使用し、色彩指導に画家の和田三造を起用した、平安時代を舞台とした絢爛豪華な時代絵巻。反清盛勢力の目を欺くために、替え玉となった裂姿。彼女の護衛役の盛連はその美しさに心奪われるが…。カンヌ映画祭グランプリ受賞。

近松物語

•5月 5日(金・祝) 11:00
•5月14日(日) 14:00



1954年/35ミリ
モノクロ/102分
大映
監督: 溝口健二
出演: 長谷川一夫
香川京子

原作は近松門左衛門の「大経師昔歴」。戦後の溝口の代表作の一つであり、溝口美学の集大成ともいえる作品。江戸時代の京都で誤解と周囲の人々の悪意や行き違ひから、大店の妻・おさんと使用人の茂兵衛は密通の罪を負わされることになる。たまりかねたおさんは家を飛び出して…。

新選組始末記

•4月29日(土・祝) 16:10
•5月 7日(日) 11:00



1963年/35ミリ
カラー/93分
大映
監督: 三隅研次
出演: 市川雷蔵
城壁三郎(若山富三郎)

「新選組」が広く一般に注目されるようになるのは、子母沢寛が当時の関係者などからの取材をまとめた「新選組始末記」から。新選組の物語の原典ともいえるこの作品を原作として時代劇映画の名手、三隅研次が演出、市川雷蔵、若山富三郎、天知茂らが主演し、前隊長、芹沢鶴の暗殺から池田屋騒動までを中心描いている。

新・平家物語

•4月26日(水) 14:00
•5月 5日(金・祝) 14:00



1955年/35ミリ
カラー/107分
大映
監督: 溝口健二
出演: 市川雷蔵
久我美子

平安末期、次第に勢力を拡大する武士達だが、あくまで公家達の手先のような存在でしかなかった。若き平清盛は、公家達の権力闘争の手先にすぎない状況に不満を抱き、自分が権力を握る野望を持って勢力を拡大していく。市川雷蔵の若武者ぶりが素晴らしい、長回しを基調とした溝口健二の演出も絶賛された。

眠狂四郎勝負

•4月29日(土・祝) 11:00
•5月 7日(日) 14:00



1964年/35ミリ
カラー/83分
大映
監督: 三隅研次
出演: 市川雷蔵
藤村志保

63年から69年まで市川雷蔵主演で12本製作された眠狂四郎シリーズの第二作。ニヒルな眠狂四郎のイメージが完成され、シリーズの実質的な出発点になった作品。偶然出会った幕府財政改革に意欲を燃やす老勘定奉行の一徹さに興味をもった狂四郎は、勘定奉行の改革を阻止しようとする勢力に立ち向かうことになる。

華岡清洲の妻

•4月28日(金) 19:00
•5月 6日(土) 11:00



1967年/35ミリ
モノクロ/100分
大映
監督: 増村保造
出演: 市川雷蔵
若尾文子

江戸時代。世界で最初の全身麻酔による手術に成功した華岡清洲。しかし麻酔薬の開発に成功するまでには長い年月と、その裏に隠された清洲の妻と母親との確執があった。意地を張り合い競って麻酔薬の実験台になろうとする妻と母親を、若尾文子と高峰秀子が火花を散らすようすさまじいで演じている。

第3弾



みるん♪

王将

•5月3日(水・祝)16:30
•5月12日(金)14:00

1948年/35ミリ
モノクロ/93分
大映
監督:伊藤大輔
出演:阪東妻三郎
水戸光子



戦前に活躍した将棋界の奇才、坂田三吉を描いた北条秀司の戯曲「王将」を時代劇の大匠、伊藤大輔が監督、阪東妻三郎主演で映画化した日本映画を代表する名作の一つ。大阪に住む草履職人の三吉は大の将棋好きで、東京から有段者を多く招いた将棋大会でも連戦連勝を続けるが、花形棋士の関根七段に「千日手」で破れてしまい…。

夜の河

•4月30日(日)16:30
•5月11日(木)14:00

1956年/35ミリ
カラー/104分
大映
監督:吉村公三郎
出演:山本富士子
上原謙

ミス・ニッポン出身の山本富士子が演技面でも著しい成長を見せ、名実共に日本映画界を代表する女優として認められた作品。女性映画の名手、吉村公三郎が初めて手掛けたカラー作品でもあり、彼の代表作の一つである。京都の染物職人の娘で自らも父をしのぐ腕と才覚を持つきわは、ある出来事をきっかけに大学教授の竹村と知り合い…。

好色一代男 •4月27日(木)14:00
•5月5日(金・祝)16:30

1961年/35ミリ
カラー/92分
大映
監督:増村保造
出演:市川雷蔵
若尾文子

元禄時代。裕福な商人の息子、世之介は無類の女好き。家を継ぐために真面目に働いてほしいという親の願いも空しく、毎日遊び回っていた。あまりの金遣いの荒さに親から勘当されるのだが、日本中を流浪しながらも女好きは変わらないのだった。井原西鶴の「好色一代男」を映画化した秀作。

藤村志保シネマトーク
「私の歩いた大映映画」



4月29日(土・祝)
15:00~16:00

出演:藤村志保
司会:古山和子
観覧料:800円(前売り600円)

*開場は開演の30分前
*シネマトーク観覧料は16:10からの
「新選組始末記」とセット料金
*高齢者及び障がい者割引なし
*前売り券は3月1日(水)から、アートリエ
(博多リバレイ地下2階。電話281-0103)
映像ホール・シネラ受付にて発売

収蔵作品特集

60年代 韓国映画特集

ユ・ヒョンモク監督やシン・サンオク監督などの活躍で黄金時代を築いた60年代韓国映画の特集



5月17日(水)~25日(木)

*休館日・休映日除く

観覧料:500円(大人)400円(大学生・高校生)

300円(中学生・小学生)

*定員制・各回入替制 *チケットはすべて当日券。
前売り券はありません。*障がいの方は無料。
福岡市在住の65歳以上の方は半額。(手帳の呈示が必要です。)

荷馬車
Coachman

•5月17日(水)14:00
•5月19日(金)14:00



1961年/35ミリ
モノクロ/98分
韓国
日本語字幕付き
監督:カン・テジン
出演:キム・スンホ
シン・ヨンギュン

主人公は荷馬車引きをしながら貧しいながらも四人の子供を育てていた。なかなか司法試験に合格しない長男、ヤクザになった二男、ろうあの長女、毎日遊び歩く二女と問題は多かったが、隣の家の家政婦が何かと世話をやいてくれるのだった。60年代ソウルの庶民生活や風景が描かれた作品で、主演のキム・スンホの演技が光る。

米
Rice

•5月21日(日)14:00
•5月25日(木)19:00



1963年/35ミリ
モノクロ/124分
韓国
日本語字幕付き
監督:シン・サンオク
出演:シン・ヨンギュン
チエ・ユニ

60年代初頭、ヨンはソウルから山間の故郷の村に帰ってきた。荒れ地で作物が取れない村は極貧にあえいでいた。ヨンは田に水を引く水路の建設を役所にかけ合が、すべて断られてしまう。しかし農民達は一丸となって山を切り開くのだった。村の復興に対する制作作者たちの祈りと情熱が画面から見える作品となっている。

誤発弾 An Aimless Bullet

•5月18日(木)14:00
•5月20日(土)14:00

おすすめ



1961年/35ミリ
モノクロ/107分
韓国
日本語字幕付き
監督:ユ・ヒョンモク
出演:キム・ジンギュ
チエ・ムリョン

「誤発弾」は現在でも韓国映画史上最も優れた作品として評価され、同時に屈指の問題作とも言われた作品です。時代は朝鮮戦争後のソウル。計理事務所に勤めるソンは北からの難民のため薄給で貧しい生活だった。家族は戦争の後遺症で精神を病む祖母、妊娠中に栄養失調の妻、職がなく酒浸りの義弟ヨンホ、そして米兵相手に隠れて売春をする妹のヨンスク。ある日ヨンホの恋人のソリが隣人の男と無理心中させられる。绝望したヨンホは銀行強盗を企てるがすぐに捕まってしまう。ソンは警察でヨンホと面会する。また妻が難産で入院したと聞き、病院に向かうが妻はすでに死んでいた。果然町を歩くソンを猛烈な歯痛が襲うのだった。この映画は1961年の軍事クーデターの前に製作された作品です。映画の公開は戒厳令下であり、軍事政権は何とも不可思議なこの映画を「共産的」として公開禁止にしました。しかしこの映画で描かれているのは、1960年という時代の空気そのものなのです。理不尽な社会に行き場を見いだせない登場人物達が張りつめた緊張感の中で描かれ、いつも歯痛に悩まされるソンの姿は、社会への絶望と未来への希望を希求しているのです。

帰らざる海兵
The Marines Who Never Return

•5月18日(木)19:00
•5月21日(日)16:30



1963年/35ミリ
モノクロ/109分
韓国
日本語字幕付き
監督:イ・マニ
出演:チャン・ドンフィ
チエ・ムリョン

朝鮮戦争時代。カン隊長率いる韓国海兵隊は仁川上陸に成功し、ソウル奪還を目指して進軍していた。海兵隊員は故郷の悲惨な状況にショックをうける。しかし中国軍の参戦で海兵隊は次第に包围されてしまう。当時の韓国映画史上初となる戦争アクション大作。巨匠イ・マニ監督晩年の傑作と評されている。

金薬局の娘たち
The Daughters of the Pharmacist Kim

•5月20日(土)16:30
•5月24日(水)14:00



1963年/35ミリ
モノクロ/107分
韓国
日本語字幕付き
監督:ユ・ヒョンモク
出演:チエ・ジヒ
キム・ドンウォン

韓国南岸の町トンヨン。キム家の息子ヨンスは日帝時代に薬局をたたんで、漁場経営に転身する。ヨンスには4人の娘がいた。口うるさい長女ヨンスク、留学中の二女ヨンビン、使用人と交際をしている三女ヨンラン、クリスチャンの四女ヨンオクは激動する社会に翻弄されていく。ユ・ヒョンモク監督の最高傑作との評価もある作品。

浜辺の村
The Sea Village

•5月19日(金)19:00
•5月21日(日)11:00



1965年/35ミリ
モノクロ/91分
韓国
日本語字幕付き
監督:キム・スヨン
出演:シン・ヨンギュン
コ・ウンア

小さな浜辺の村。今日も漁師達が船出していく。その後島は嵐に見舞われ、翌朝帰ってきた船には何人かの犠牲者が出ていた。新婚のヘンスは夫のソングを失い、妊婦のスンイムも夫を失った。未亡人となった女達は互いに慰め合いながら生きていく。国際的に高い評価を得た文芸映画で、本作以後文芸映画ブームをおこした作品。

修学旅行
A School Excursion to Seoul

•5月20日(土)11:00
•5月25日(木)14:00



1969年/35ミリ
カラー/102分
韓国
日本語字幕付き
監督:ユ・ヒョンモク
出演:ク・ボンソ
ムン・ヒ

離れ小島ソンドの小学校にソウルから単身赴任した若いキム先生は、子供達が電車や自動車さえ知らないことに驚く。キム先生は子供達に都会を見せてあげたいとソウルへの修学旅行を計画する。初めて見る都会に驚く子供達の姿が生き生きと描かれ、素朴な感動が伝わる児童映画の秀作である。

60年代の韓国映画

現在世界を席巻する韓国映画だが、1960年代も韓国映画の黄金時代と言われる。朝鮮戦争後であり、経済的には貧しい社会、さらに61年の軍事クーデター以後、軍事政権により映画表現は大きく規制された。ところがこの時期映画産業はひとつのピークを迎えるのだ。大衆は娯楽に飢えており、メロドラマ、ホームドラマ、青春ドラマなどが復興した映画会社により多数製作されるのだ。映画館には多くの観客が押しかけ、娯楽作品に混じってシン・サンオク監督、ユ・ヒョンモク監督、キム・ギヨン監督などが作家性をも兼備した作品を作成している。言論統制の中でも、わずかな自由を映画人達は探求していったのである。またこの時代を代表する監督の一人であるイ・マニはハリウッド的な映画製作で、ウェルメイドな娯楽作品作りに成功している。現在の韓国映画の先駆的な存在といえる。イ・マニ監督が66年に監督した「晩秋」という恋愛映画は、日本で斎藤耕一監督が「約束」という題でリメイクした。また吉永小百合主演の日活映画「泥だらけの純情」が、韓国で64年「裸足の青春」という題でリメイクされるなど、良質なエンターテインメント作品により韓国映画の質は飛躍的に向上していく。70年代になると軍事政権の言論統制は厳しさを増し、社会的な閉塞感の中、次第に自由な映画製作ができなくなっていく。国際的にはまだ無名の存在だったが、60年代は復興する韓国社会とあいまって映画製作は大きな収穫を得た時代だったのである。

4月|5月 上 映 ス ケ ジ ュ ー ル

26 水	[14:00] 新・平家物語
27 木	[14:00] 好色一代男 [19:00] 雁の寺
28 金	[14:00] 忍びの者 [19:00] 華岡清洲の妻
29 土(祝)	[11:00] 眠狂四郎勝負 [15:00~16:00] 藤村志保 シネマトーク「私の歩いた大映映画」 [16:10] 新選組始末記
30 日	[11:00] 妻は告白する [14:00] 座頭市物語 [16:30] 夜の河
5/1 月	休館日
2 火	休館日
3 水(祝)	[11:00] 地獄門 [14:00] おとうと [16:30] 王将
4 木(祝)	[11:00] 羅生門 [14:00] 雨月物語 [16:30] 歌ふ狸御殿
5 金(祝)	[11:00] 近松物語 [14:00] 新・平家物語 [16:30] 好色一代男
6 土	[11:00] 華岡清洲の妻 [14:00] 忍びの者 [16:30] 雁の寺
7 日	[11:00] 新選組始末記 [14:00] 眠狂四郎勝負
8 月	休館日
9 火	休映日
10 水	[14:00] 妻は告白する
11 木	[14:00] 夜の河 [19:00] 座頭市物語
12 金	[14:00] 王将 [19:00] 地獄門
13 土	[11:00] おとうと [14:00] 羅生門 [16:30] 雨月物語
14 日	[11:00] 歌ふ狸御殿 [14:00] 近松物語
15 月	休館日
16 火	休映日
17 水	[14:00] 荷馬車
18 木	[14:00] 誤発弾 [19:00] 帰らざる海兵
19 金	[14:00] 荷馬車 [19:00] 浜辺の村
20 土	[11:00] 修学旅行 [14:00] 誤発弾 [16:30] 金葉局の娘たち
21 日	[11:00] 浜辺の村 [14:00] 米 [16:30] 帰らざる海兵
22 月	休館日
23 火	休映日
24 水	[14:00] 金葉局の娘たち
25 木	[14:00] 修学旅行 [19:00] 米
26 金	井土紀州「LEFT ALONE」[18:00] LEFT ALONE 第1部+第2部
27 土	[10:30] 朝日のあたる家 [13:00] LEFT ALONE 第1部+第2部
28 日	自主上映【福岡映画サークル2006年第3回例会】
29 月	休館日
	30 火 休映日
	31 水 休館日

I N F O R M A T I O N

■ 自主上映のお知らせ

5月28日(日)福岡映画サークル2006年第3回例会

- 上映作品、村の写真集

観覧料/前売り1,200円 当日1,400円 シニア1,000円 主催/福岡映画サークル協議会 (TEL092-781-2817) *詳細については、直接主催者にお問い合わせください。

■ 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄：西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス：*天神～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間：昼間で約20分)*博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間：昼間で約25分)福岡タワー南口バス停から徒歩3分。いずれも、昼間は10～15分間隔で運行されていますので、大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道電話センター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。



井土紀州

LEFT ALONE

福岡上映会

1968年とは、どのような年だったのか?
体制への反逆。革命。ニューレフト運動の決定的な転回点…。
「68年革命」を語る複数の声と膨大な資料による引用の織物。

5月26日(金)、27日(土)

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

観覧料:大人1800円(前売1500円)、学生・未成年 1000円

●26日(金)18:00

「LEFT ALONE 第1部+第2部」
(93分+109分)

●27日(土)

10:30 「朝日のあたる家」
(81分)*最新作 [13:00] 「LEFT ALONE 第1部+第2部」
(93分+109分)

主催:「レフトアローン福岡上映会」実行委員会

後援:福岡市総合図書館

協力:西南学院大学「マスメディア実践論」(朝日新聞社寄付講座)

お問い合わせ:090-7388-2781(田村)



関連イベント

シンポジウム

「re1968volution:
LEFT ALONEをめぐって」

5月27日(土) 17:30～20:00

西南学院大学2号館2階教室

入場無料

パネリスト(予定)

井土紀州(映画監督)

平井 玄(音楽評論家)

鎌田哲哉(文芸評論家)

お問い合わせ:090-7388-2781(田村)

■ ホームページ

「うえぶシネラ」をご覧下さい。

●うえぶシネラアドレス

<http://www.cinela.com>

適職発見、人材派遣。

長年の実績と信頼であなたのキャリアアップを応援します。

人材派遣の登録、お問合せは

NTTマーケティングアクト九州

<http://www.kyu.nttact.com>

0120-111-866

福岡市博多区上興服町10番10号

興服町ビジネスセンタービル5F

NEC

〒812-8626 福岡市博多区御供所町1-1 (西鉄祇園ビル)

電話(092)271-7700

発行:映像ホール・シネラ実行委員会

デザイン:大宝拓殖デザイン事務所/印刷:株式会社西日本新聞印刷

R100 古紙100%再生紙を使用しています。